

時間予算ワークショップ

自分たちの学校を自分たちで変える校内対話


株式会社先生の幸せ研究所

代表取締役 澤田 真由美



独立行政法人教職員支援機構

目次

- 1 **【主催者・あらかじめ】**実施前にご覧いただく資料
準備物・工夫等
- 2 **【実施当日】**動画内で投影されている資料
講師澤田のナビゲートで進めていく校内研修  **本日**
- 3 **【主催者・あらかじめ】**実施後にご覧いただく資料
その後の展開パターンと実現度を高める方法

1 【主催者・あらかじめ】実施前にご覧いただく資料

事前に、主催や管理職の方々へ

- 本動画「時間予算ワークショップ」は、「大まかな意思決定ワークショップ」動画と合わせると効果的です
本動画は、キックオフとしてざっくりばらんなアイデア出しのために最適で、大小様々なものを集められます
「大まかな意思決定ワークショップ」は、合意形成の難易度の高いテーマについての一歩目を決めるのに最適です
- 校内対話の質を高めるには、教職員の雰囲気はとても重要です
実態に応じて以下のようなことで取り組みへの期待や話しやすさを高めるようにしてください
 - この対話会への主催者の期待や意図の説明
 - 開始前にアイスブレイク
 - 終了時に振り返り

1 【主催者・あらかじめ】実施前にご覧いただく資料

事前準備 ※目次3「【主催者・あらかじめ】実施後にご覧いただく資料」もご覧ください

0) 開始前準備

▶参加者

全教職員又は推進チーム

▶準備

- A3に印刷した本ワークシート ⇒ 1人1枚
- 付箋（サイズ75 mm .75 mm）⇒10枚程度/人 ※同色が望ましい
- 模造紙 ⇒ 班に1枚
- A4用紙 ⇒ 1～2枚/人
- 時程表、年間予定表などの日常業務を思い出すための材料

▶班編成

- 形式：少人数（3～5名/班）
- 編成：学年集団など日頃仕事を共にしているメンバー
- 机の配置：活発に意見が出るように、四角形やTの字など、メンバーの顔がお互い見渡せるような島形式が望ましい
- 各班の中で進行役、タイムキーパーを決める

▶期待や話しやすさを高めるひと手間で実行力UP

例) 冒頭に主催者等から期待や趣旨を一言 / 開始時に場が温まる
アイスブレイク / 終わりがけに今後活かす感想や振り返り共有 等

2 実施当日に動画内で投影されている資料

国の方向性 文科大臣メッセージ（2023年8月29日）

追加資料2

文部科学大臣メッセージ
 ～子供たちのための学校の働き方改革 できることを速ちに、一緒に～

学校は子供を育てる重要な場所。とある2011年から約4年、学校の働き方の改善に向けて、教員勤務実態調査では各校実態が減少しましたが、同時に各都府県で教員が働きやすい環境づくりが進んでいます。この改革の目的は、働き方の改善により教員が学ぶ時間を確保し、自らの授業を磨く工夫を促すこと、子供たちにより良い授業を身に付けることができるようにすることです。中核は、2024年度からの3年間を改革集中期間とし、基幹全体として質の高い授業の推進に向け、働き方改革、待遇改善、負担・運営体制の充実を一年期に凝り進めていきますが、時間を取り急ぐ改善をより急いものとするのは特らなため、速にできることに随時、文部科学大臣としてメッセージをお伝えします。

1. 働き方改革によって改革を進めます
 教師を取り巻く環境整備の加速化に向け、これまで以上に各都府県で教員を確保します。教師の負担については、約50年ぶりの抜本的改善に向け推進を加速してまいります。今からすぐ取り組めることとして、大幅な教員実態の改善や支援スタッフの大幅な増員、教師のなりわいの確保に向けた取組を進めます。

また、国・地方自治体・各学校が担う業務の明確化、共通する取組を率先して示します。今後の中央教育審議会の提言でも、学校行事の減らさなければならぬ明確化、見直し、登校時間の見直し等が示されています。「やめようと思っても、様々な理由によりやめられない」との声は私にも届いていますが、働き方改善としてその先により良い教育につながる取組は、文部科学大臣として速に推進しますので、このメッセージを業務改善に向けた取組として活用ください。

2. 学校と教育委員会、できることは速ちに実行を
 働き方改革は国だけで進みません。改めて、一人一人の教師の勤務時間管理及び健康支援、業務分担の見直し等の責任を有している各都府県教育委員会や各都府県教育委員会であること、すべての教員先生及び教育委員の先生にご理解いただきたいと思います。これまでの取組で効果が見られた好事例は相違なくあり、推進した実例は増えています。提案では、例えば、標準授業時数を大幅に上回っている教員経験短年の児童とはじめ各生体において進められる対応が整備されており、各学校の課題を速に、今からできることは速に実行を促します。お願いします。

3. 保護者・地域住民の責務へ
 デジタル化の進展など激変を要する時代の中で、各学校は、子供たちが主体的に学ぶ場となることを期待し、教育の質の向上に取り組んでいます。教師が教師でなければならぬ業務に集中してこの目標を達成するために、家庭・地域との連携や学校の働き方改革が重要であり、質の高い教育を実現するために、保護者・地域住民の責務を担っていただくことが必要です。このため、平成31年中教審答申では「**いわゆる「3分類」**」を整理し、業務の優先順位を踏まえ**「精選・担出し」**や、学校と保護者・地域住民との**役割分担の明確化**が求められている。

<要点>

- 2024年度から3年間が改革集中期間
- 「**やめようと思っても、様々な理由によりやめられない**」という現場の変わりにくさは国も理解しており、このメッセージを旗印にしてほしい
- 国だけでなく、責任は**校長及び教育委員会**
- 好事例はすでに十分なので、徹底した実行を
- 標準授業時数を大幅に上回っている場合は見直しを
- 保護者・地域住民との連携・協働を

学校及び教師が担う業務の適正化（いわゆる「3分類」の一環の適用に向けて）

● 教師が教師でなければならぬ業務に集中し、教育の質を向上させていくの観点から、これまで学校・教師が担ってきた業務の仕分けが必要です。このため、平成31年中教審答申では**いわゆる「3分類」**を整理し、業務の優先順位を踏まえ**「精選・担出し」**や、学校と保護者・地域住民との**役割分担の明確化**が求められている。

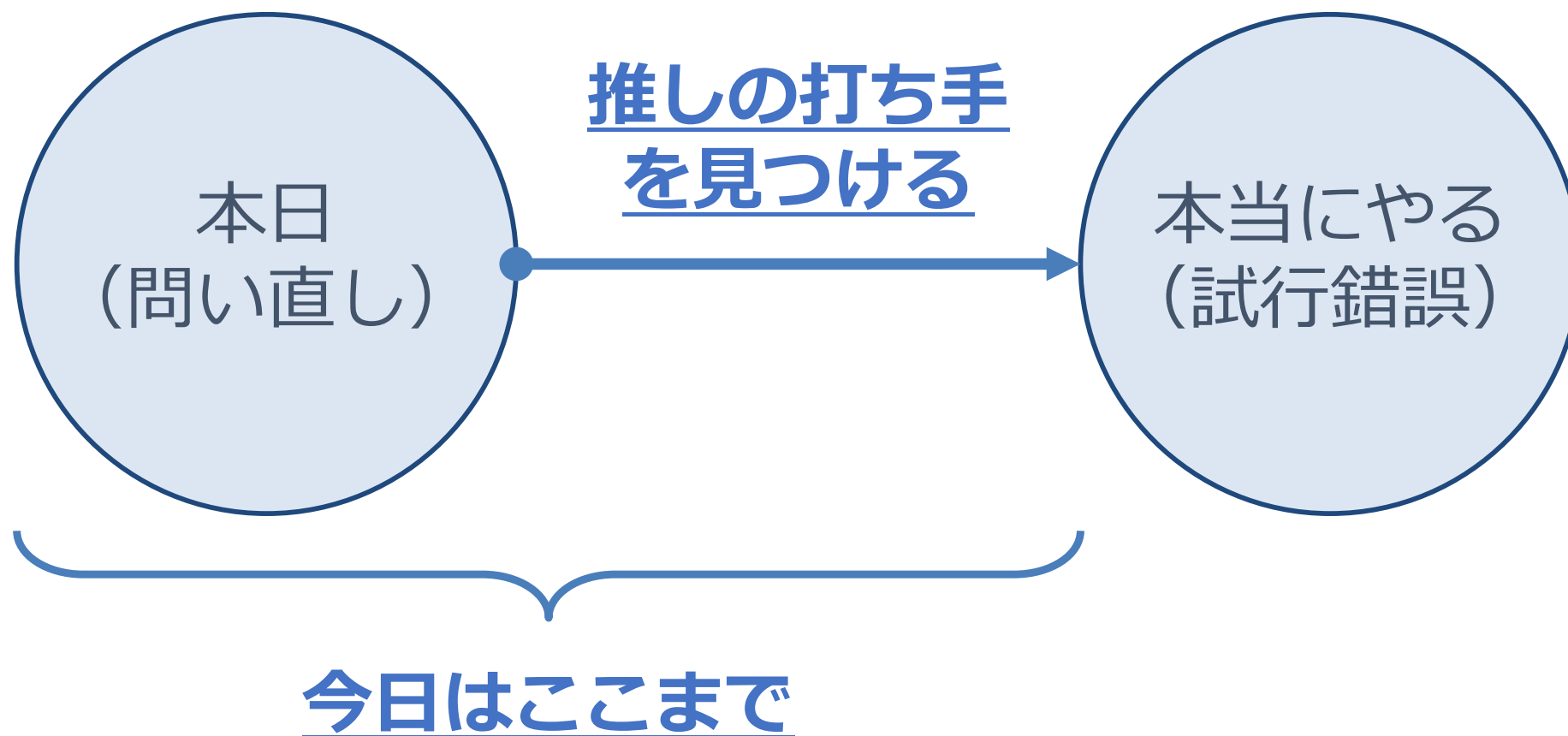
基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
①登下校に関する対応	5調査・統計等への回答等 〔事務担当等〕	5給食時の対応 〔学校長と栄養教諭等との連携等〕
②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が帰郷された時の対応	6児童生徒の休み時間における対応 〔精華、地域ボランティア等〕	6授業準備（教材作成） 〔精華、地域ボランティア等〕
③学校徴収金の徴収・管理	7校内清掃 〔精華、地域ボランティア等〕	7学習評価や成績処理（科目別業務へのサポートスタッフの活用等）
④地域ボランティアとの連絡調整	8部活動（部活動委員等）	8学校行事の準備・運営 〔事務担当等との連携、一部内職等〕
		9道徳指導 〔事務担当や外部人材との連携・協力等〕
		10支援が必要な児童生徒・家庭への対応（専任スタッフとの連携・協力等）

資料出典：文部科学省「学校・教員が担う業務の適正化（いわゆる「3分類」）の一環の適用に向けて」

「学校・教師が担う業務にかかる3分類」
 （2019年1月中央教育審議会）

2 実施当日に動画内で投影されている資料

本日は自分・学年・学校で「試したくなる推しを見つける」



2 実施当日に動画内で投影されている資料

少しでも具体的な変化へ！
ワークシートと同じように進めていきます（概要欄からダウンロードできます）

時間予算ワークショップ 所要時間：90分

このワークショップで目指すこと
「やりたいこと」を「限られた時間」で実現するための「アイデア」を創り出し、試みとなる推しを見つけること

※主催の会費は実費

0) 開始前準備 **1) Input** **2) 現状把握 (6分)** **3) お話とルール**

▶参加者
全教員又は関係者チーム

▶準備
○A3に印刷した本ワークショップ⇒1人1枚
○付箋（サイズ75mm×75mm）⇒10枚程度/人 ※同色が良い
○経過表⇒1枚1枚
○A4用紙⇒1～2枚/人
○経過表、時間予定表などの日常業務で用いているための材料

▶組織
○形式：少人数（3～5名/組）
○編成：学年・集団など日頃仕事を共にしているメンバー
○初の配置：5名に意見が出ると、両角形やYの字など、メンバーの顔が見えやすい形が良い
○各組の中で進行役、タイムキーパーを決める

▶期待や迷いをやすさを両面をひと手間で実行力が高い
例）事前に主催者から説明や質疑を一通り？参加時に場が落ちる
アイスブレイク/終わりに今後の活動や感想を振り返り共有、等

▶下準備を済ませ、暇でよしかへり
みなさんの日常って、同じ？近い？違う？

▶心算を済ませ、暇でよしかへり
みなさんの日常って、同じ？近い？違う？

五画
全員が毎日10分早く帰れるようになるために
どんなことをすれば良いですか？
（自分の学校について考えてみましょう）

▶進行役・タイムキーパーを決めてください
▶4つのルール

▶観望時間
▶時間外参加
▶見よう見まわし
▶他の人に質問

4) 個人ワーク (6分) **5) 組メンバー⇒全体 (20分)** **6) 推しアイデアを共有しよう (20分)**

▶個人で「1村集」に1アイデアを推し進めよう
・6分間でできるだけたくさん書き進めよう
・4つのルールで自由に！ワクワクしながら！
・担任様で実施したアイデアもOK！
・【10の候補】：必ず参考に！もちろんそれ以外も

▶各組や個人で推しのアイデアを並び、A4用紙に記入しよう

・すぐにできることは早速明日から始めよう！
・次年度に向けた取り組みでもOK！
・グッと来た、他の人から止められてでもやりたい、譲り出されたらワクワクするテーマを選んで！
・個人でできることでも、誰かと一緒に取り組むことでもOK！
・学年や教科や分業で取り組んでみたいアイデアはそのメンバーで話し合ってみよう！何者もおすすめです！
・校内全体で広めたいことは、校長会・教務会・教員会・教務部・教務委員会・保護者など必要な人たちを巻き込んで一緒に取り組ましよう！

▶それぞれが持ち札をすべて読みながら順番に投票紙に貼る
(5分)（しゃべりすぎ注意）
グループはこの場でやるのでまずは共有

▶書き方変更(3つの切り口)にグループ分け
(5分)

▶各1人1本ペンを持ち、各個人でアイデアマークをつけよう（各生合計10分）
○：すぐにできそう
○：難しいかもしれないがやってみよう
○：（それぞれ複数可）短くまとめる必要はないので各個人でマーク

▶立って他のチームを見に行き同様にマークをつける

その他の重要パターンと
実投票を高める方法等
スライド一式 (PDF)

2 実施当日に動画内で投影されている資料

少しでも具体的な変化を起こしていきましょう！
ワークシートと同じように進めていきます（概要欄からダウンロードできます）

時間予算ワークショップ 目安時間：90分

このワークショップで目指すこと
「やりたいこと」を「限られた時間」で実現するための「アイデア」を創り出し、試したくなる推しを見つけること

0) 開始準備

1) Input

2) 現状把握 (6分)

3) お題とルール

4) 個人ワーク (6分)

5) 個人メンバー全体 (20分)

6) 推しアイデアを共有しよう! (20分)

※参加者
全和南員又は関係者

※準備
A3に印刷した本ワークショップ⇒1人1枚
付箋 (サイズ75mm、75mm)⇒10枚程度/人 (※両色が望ましい)
油性ペン⇒1本/人
A4用紙⇒1〜2枚/人
時計類、スマートフォンなど日課業務を思い出すための材料

※参加費
形式：少人数 (3〜5名/組)
編成：学年横断など日頃仕事を共にしているメンバー
参加の意欲が出るように、両面用紙の字幅と、メンバーの顔が互いに見えるような配置が望ましい
※参加の中で進行役、タイムキーパーを決める

※期待や話しやすさを高めるひと手間で実行力UP
例) 質疑に主催者等が即時や迅速で一貫 / 開始時に場を盛り上げるアイスブレイク / 終わりのために今後に活かす感想や振り返り共有

※お題
全員が毎日30分早く帰れるようにするために
ほんの些細なことをすれば良いですか?
(自分の学校について考えてみましょう)

1. 入浴中の動画視聴が27分45秒ですが、2人なら15分程度で済みますか?
2. 入浴中に15分間の音楽を聴かせたい。何曲聴かせたいですか?

▶進行役・タイムキーパーを決めてください

▶4つのルール

特別参加
参加者全員
観望者歓迎
観望者歓迎

本ワークショップ進行動画 (約1.5分)

お題はかような具体的な!

6分間でできるだけたくさん書きましょう
4つのルールで自由に! ワクワクしながら!
担任様で実施したアイデアもOK!
10の視点(1)を参考に! もちろんそれ以外も!

1	交代できる仕事はありますか? 役割を別の組員と、一人ひとりに仕事はないか? (教員、事務、下宿生、宿舎、授業準備、印刷、資料準備)
2	その仕事、手でもってできるのでは? 手と手によって学びに変わるのでは? (各々の得意分野や得意分野、得意分野や得意分野、得意分野や得意分野)
3	その仕事、職員全員が実施できる必要ですか? 人数、役割は特定ですか? (教員、事務、下宿生、宿舎、授業準備、印刷、資料準備、宿舎、授業準備)
4	それ、あなた自身でできない仕事ですか? 誰かにお願いしてやることはありますか? (主任、教員、事務、下宿生、宿舎、授業準備、印刷、資料準備)
5	手と手ではできない、役割を分けることで誰かに任せる必要はありますか? (主任、教員、事務、下宿生、宿舎、授業準備、印刷、資料準備)
6	その仕事は、誰かにお願いしてやる必要はありますか? (主任、教員、事務、下宿生、宿舎、授業準備、印刷、資料準備)
7	それによって誰かが困ることはありますか? 手と手ではできない、役割を分けることで誰かに任せる必要はありますか? (主任、教員、事務、下宿生、宿舎、授業準備、印刷、資料準備)
8	30分を過ぎて、予定は実現できず終わってしまったらどうしますか? (主任、教員、事務、下宿生、宿舎、授業準備、印刷、資料準備)
9	結果発表後、お題に対して感想や、手もってできなかったことについて話し合いませんか? (主任、教員、事務、下宿生、宿舎、授業準備、印刷、資料準備)
10	それによって全学年一斉に業務が滞りませんか? (主任、教員、事務、下宿生、宿舎、授業準備、印刷、資料準備)

▶お題それぞれが持ち札をすべて読みながら順番に投函箱に貼る (5分) (しゃべりすぎ注意)
グループはこの順番でやるのでまずは共有

▶お題を方改革3つの切り口をグループ分け (5分)

▶1人1本ペンを持ち、各個人でアイデアにマークをつけましょう (全手合計10分)
○: すぐにできそう
□: 難しいかもしれないがやってみよう (それぞれ複数可) 明てとめる必要はないので各個人でマーク

▶立って他のチームを見に行き同じようにマークをつける

その後の質疑応答と
実現度を高める方法等
スライド一式 (PDF)

※2本目の動画のQRコードとなります。



大まかな合意形成ワークショップ
意思決定の難易度の高いテーマに最適

株式会社先生の幸せ研究所
代表取締役 澤田 真由美



独立行政法人教職員支援機構

2 実施当日に動画内で投影されている資料

先生のゆとりは子どもの輝きに直結

ゆとりがあったら、例えばこんなことに使える

- **子どもと真に向き合う時間**
- **新しい学校運営や教育創造へチャレンジの時間**
- **教職員の心身の健康増進の時間**
- **豊かな私生活でのインプットの時間**

2 実施当日に動画内で投影されている資料

学校の働き方改革の目的は「教育の質の向上」

仕事の質 = 価値 ÷ 時間

仕事の質を上げるにはどちらか、あるいは両方

① 生み出す価値を大きくする

② かける時間を小さくする

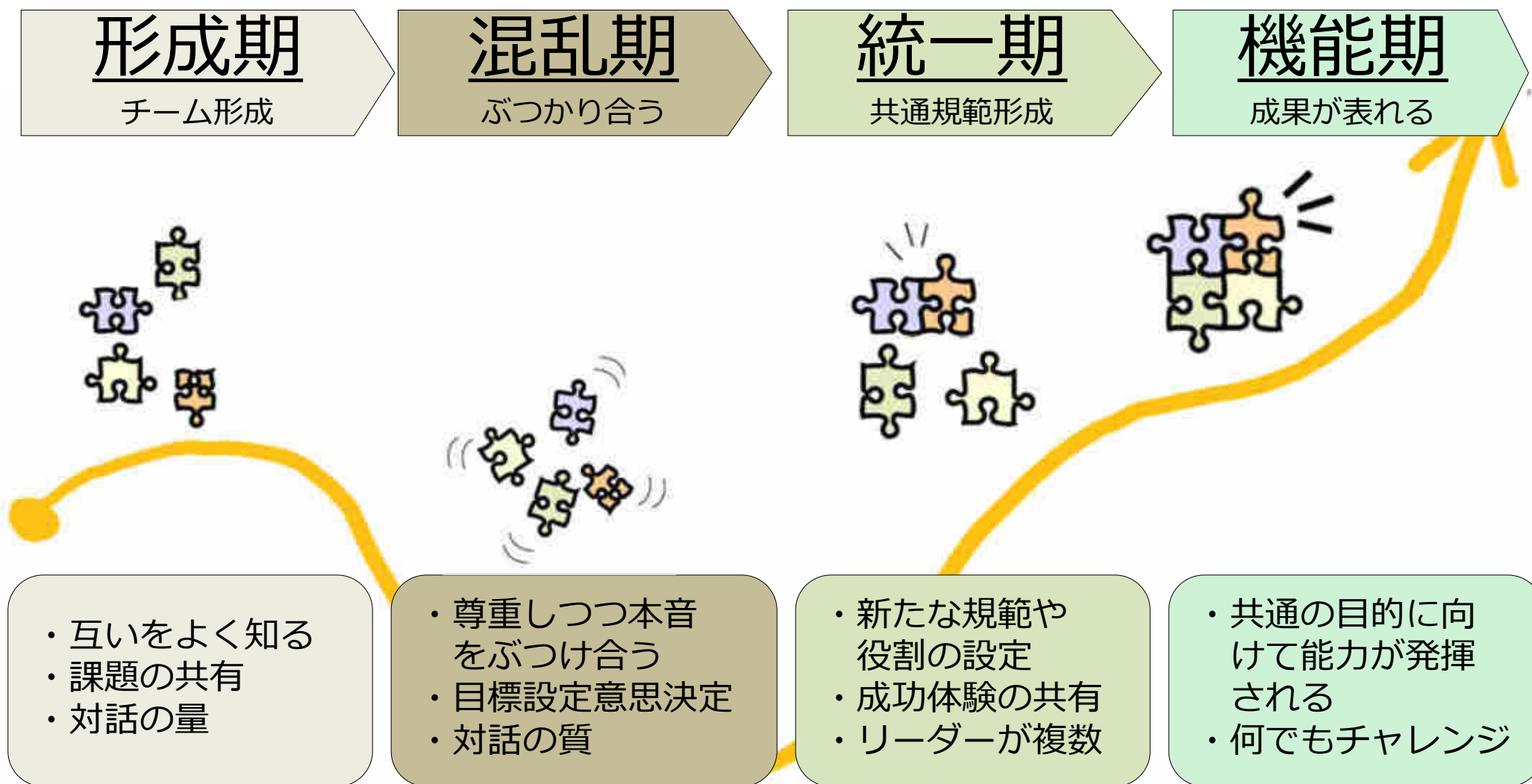
そしてそもそも、どんな価値を生み出したいのか
を定めることも必要

2 実施当日に動画内で投影されている資料

組織には発達段階がある

タックマンモデル

混乱期を避けず、うまく乗り越えることが重要！



2 実施当日に動画内で投影されている資料

ずっと役に立つ思考法

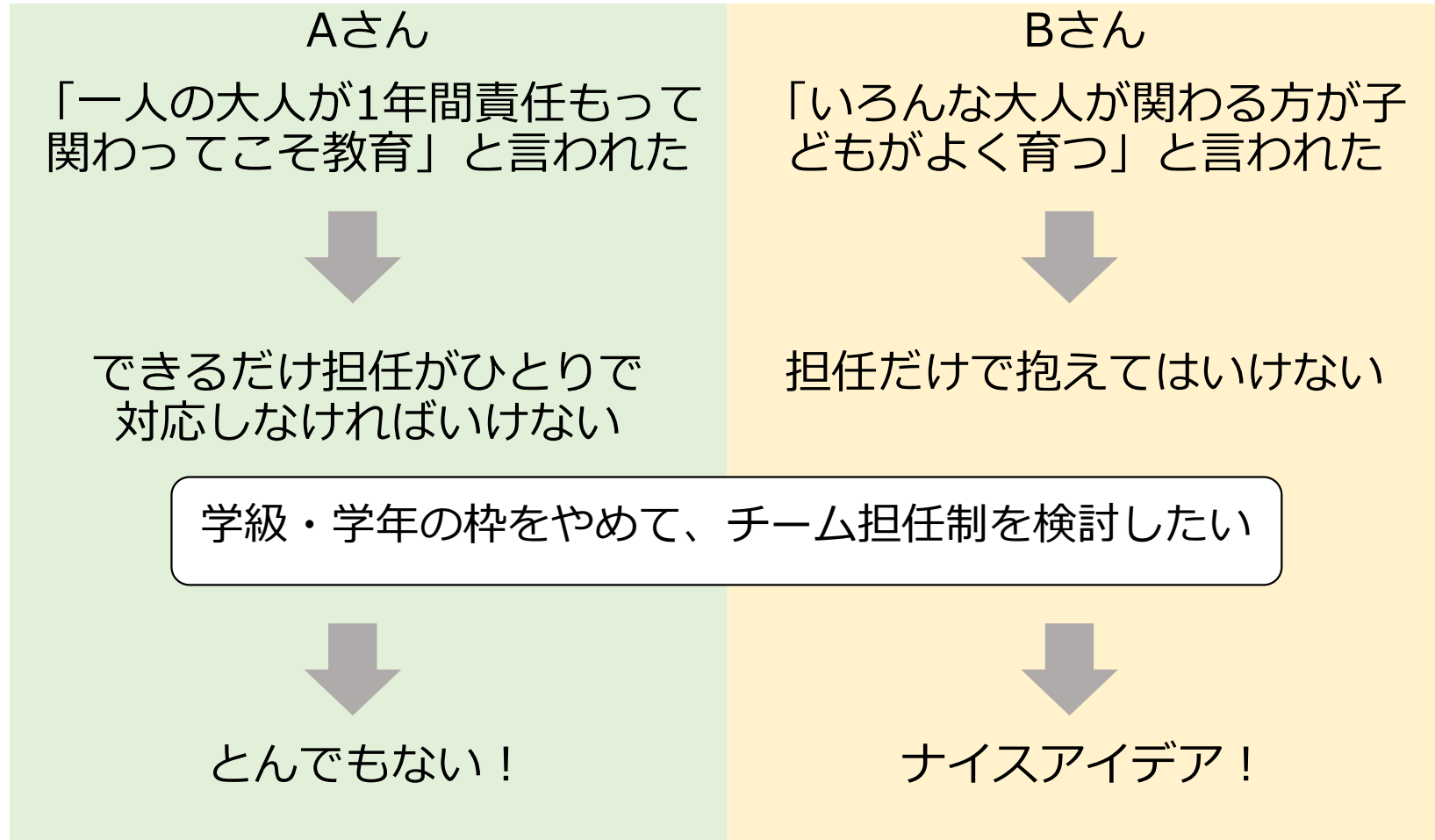
何かを変える時に欠かせない土台となる

思考・行動の癖に
自覚的になり
天才を超える思考法

クリティカルシンキング

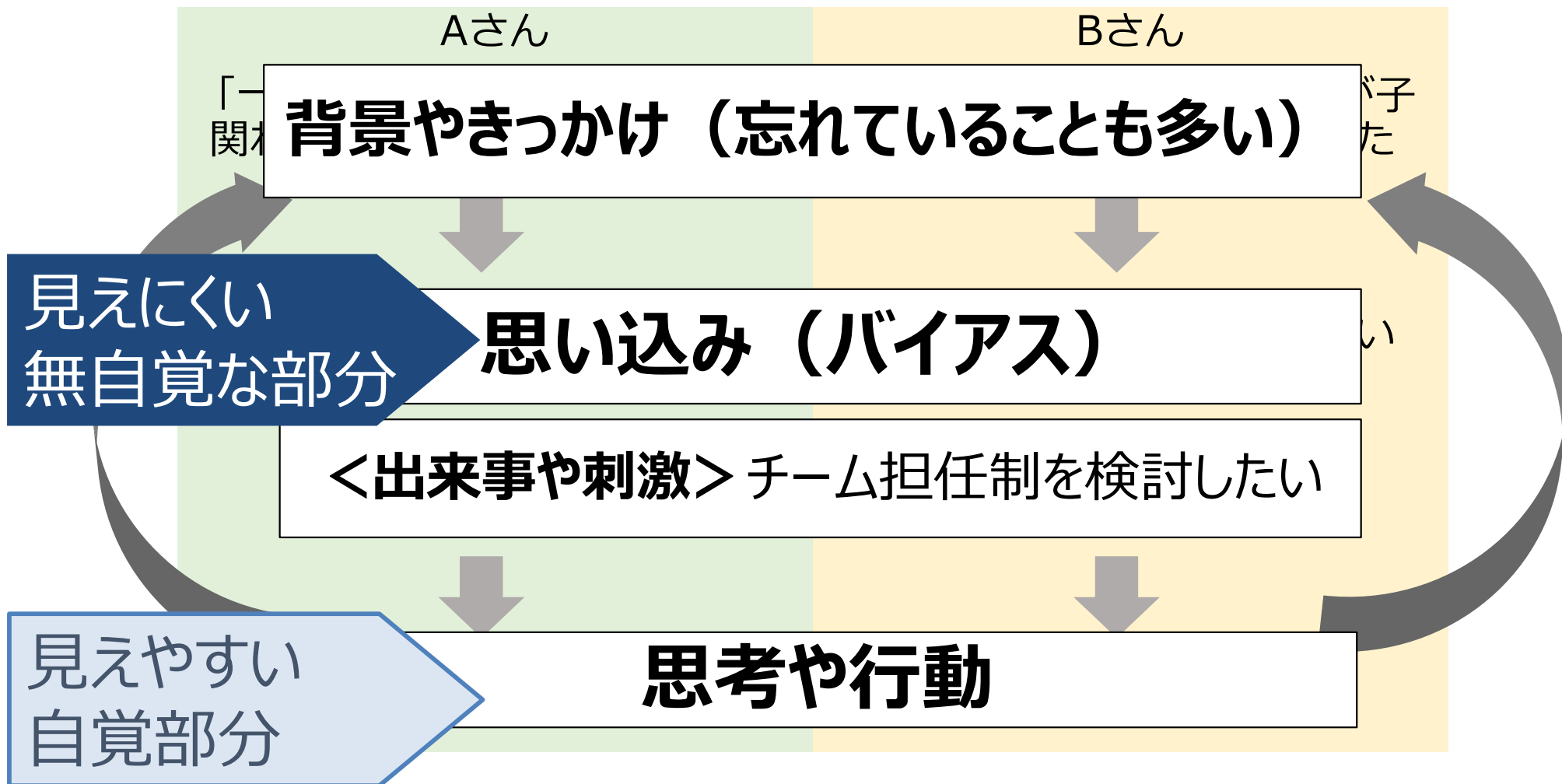
2 実施当日に動画内で投影されている資料

思考・行動の形成



2 実施当日に動画内で投影されている資料

見えにくい無自覚な部分に気づくことが大切



2 実施当日に動画内で投影されている資料

思い込みを「バイアス」（思考の偏り）と言う

バイアスによって、思考と行動の癖が出る人は1日に4万回も無意識で思考している

その多くは、、、

- 幼少期
- 初めての経験・環境

自分パソコン



バイアスを書き換えたり、手放したりすることで思考と行動が変わる！？
捉われのないあなたならどうするか

2 実施当日に動画内で投影されている資料

バイアスの見つけ方

- するべき
- してはいけない
- 社会の常識
- やっぱり
- できない
- 意見が割れるもの



2 実施当日に動画内で投影されている資料

バイアスを解く

=クリティカルシンキングの言葉

- それって本当なの？
- いつからそう思っているの？



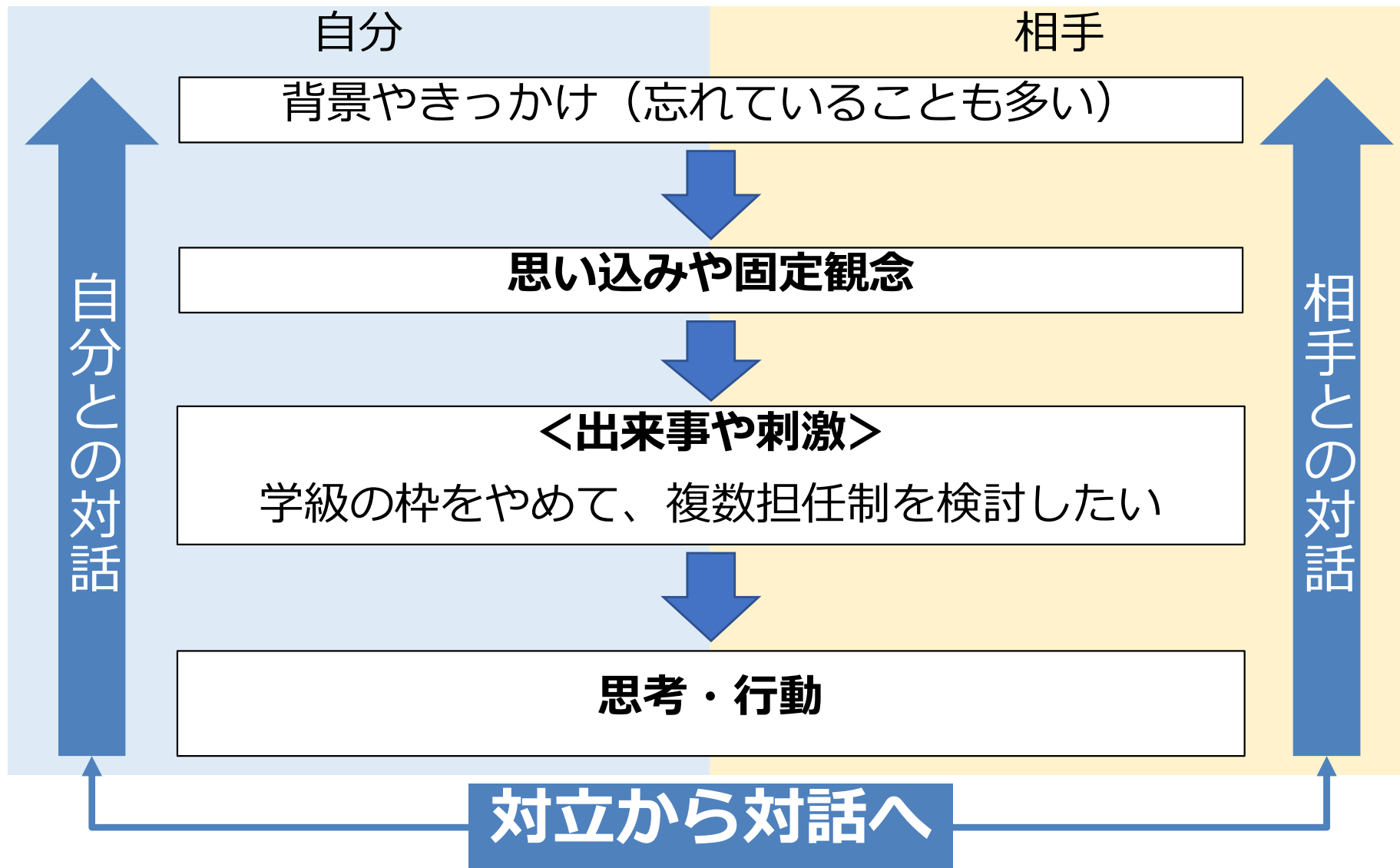
2 実施当日に動画内で投影されている資料

なぜそう思うのか、本当に必要なのかを考えた結果・・・
「これは思い切って手放してみよう！」という結論に

業務見直し案	バイアス例
清掃なし	毎日掃除はするべき！
帰りの会を昼休みに行う	昼休みは毎日確保するべき！
下校指導の分担	職員も全員で指導するべき！
防犯パトロールの廃止	生徒が家に帰るまでしっかり指導するべき！
職員会議の議題の精選	職員全体で話し合っ決めてるべき！
会議のペーパーレス化	大切なことは紙ベースであるべき！
「4時半までは家庭学習」 ルール廃止	早帰りの日は家で勉強するべき！
男性育休取得の奨励	教師は自分の子どもよりも児童を第一に考えるべき！
所見の廃止/簡素化	通知表の所見は書かねばならない！ (なくすなんて教師としてあるまじきことだ！)
連絡ノートの廃止/簡素化	ノートにコメントを書かないと子どもとの繋がりが作れない！

2 実施当日に動画内で投影されている資料

自分にも、相手にもそれぞれ背景や思い込み、正義があることがわかると「見えない部分」まで相互理解を深められる



2 実施当日に動画内で投影されている資料

ゼロベースで、あらゆる可能性の中から望む未来を作る

相手と同じ性質・生き立ち・経験があれば、自分も同じように反応しただろう

それぞれの正義がある

全部正解だとも、全部正解じゃないとも言える

つまり、どれもいいし、どれでなくてもいい



可能性は開けている！

さあ、知恵を出し合いましょう！

2 実施当日に動画内で投影されている資料

「自分・学年・学校で試したくなる推しを見つける」

時間予算ワークショップ 目安時間：90分
 このワークショップで目指すこと
 「やりたいこと」を「限られた時間」で実現するための「アイデア」を創り出し、試したくなる推しを見つけること

0) 開始準備 1) Input 2) 現状把握 (6分) 3) 企画とルール

▶参加者
 全教職員又は推進チーム

▶準備
 ○A3に印刷した本ワークショップ⇒1人1枚
 ○付箋 (サイズ75 mm、75 mm) ⇒10枚程度/人 ※両色が望ましい
 ○横断紙⇒用紙1枚
 ○A4用紙⇒1〜2枚/人
 ○時程表、時間予算表などの日常業務を思い出すための材料

▶所属
 ○形式：少人数 (3〜5名/班)
 ○編成：学年横断など研修行事を共にしているメンバー
 ○他の配慮：活発に意見が出るように、両肩所々の学年ごとのメンバーの組み合わせが望ましい
 ○各班の中で進行役、タイムキーパーを決める

▶期待や話しやすさを高めるひと手間で実行力UP
 例) 班前に主催者等から期待や教育者一人ひとりに期待するメッセージ / 班の役割に今後につながる感想や取り組み等

本ワークショップ進行表 (約：5分)

2) 現状把握 (6分)
 ▶下の表を見て、明ておしゃべり
 みなさんの日常って、同じ？違う？

3) 企画とルール
 ▶全員が毎日30分早く帰れるようにするために
 ほんのなことをすれば良いですか？
 (自分の学校について考えてみましょう)

▶進行役・タイムキーパーを決めてください
 ▶4つのルール

▶各教員は
 ①自分のアイデアを1枚の用紙に書く
 ②自分のアイデアを1枚の用紙に書く
 ③自分のアイデアを1枚の用紙に書く
 ④自分のアイデアを1枚の用紙に書く

4) 個人ワーク (6分) 5) 班メンバー⇒全体 (20分) 6) 推しアイデアを共有しよう (20分)

▶個人で「1枚用紙」に「1アイデア」を書きましょう
 ・6分間でできるだけたくさん書きましょう
 ・4つのルールで自由に！ワクワクしながら！
 ・担任様で実施したアイデアもOK!
 ・110の視点(1)〜(8)を参考に！もちろんそれ以外も！

▶色紙や紙入で推しのアイデアを選び、A4用紙に記入しましょう

・すぐできることは早速明日から始めましょう！
 ・次年度に向けた取り組みでもOK！
 ・クラス単位、他人から止められてもやりたい、達成出来たらワクワクするテーマを選んで！
 ・個人でできることでも、誰かと一緒に取り組むことでもOK！
 ・学年や教科や分掌で取り組んでみたいアイデアはそのメンバーで話し合ってみましょう！有志もおすすめ！
 ・校内全体で広めたいことは、校長会・教員会・教務会・教務委員会・保護者など必要な人たちを巻き込んで一緒に取り組みましょう！

▶①それぞれが持ち札をすべて読みながら輪周に投票紙に貼る (5分) (しゃべりすぎ注意)
 グループはこの場でやるのでまずは共有

▶②準備方改革(3つの切り口)にグループ分け (5分)

▶③1人1本用紙を持ち、各個人でアイデアマークをつけよう (③手合計10分)
 ○：すぐできる
 ○：難しいかもしれないがやりたい (それぞれ投票可) 明てまとめる必要はないので各個人でマーク

▶④立って他のチームを見に行き同じようにマークをつける

その後の班別パターンと実施度を高める方法等スライド一式 (PDF)

2 実施当日に動画内で投影されている資料

2) 現状把握 (6分)

▶ 下の表を見て、班でおしゃべり
みなさんの日常って、同じ？近い？違う？

中学校教員の一日	
5:00	起床
5:00 ~ 7:15	朝食
7:15 ~ 7:30	出勤
7:30 ~ 8:10	部活の朝練
8:10 ~ 8:30	職員会の打ち合わせ
8:30 ~ 8:40	教室で朝の読書指導
8:40 ~ 8:50	朝の会
8:50 ~ 12:45	授業 (ない時間は見回りなど)
12:45 ~ 13:20	教室で給食
13:20 ~ 15:30	授業
15:30 ~ 15:55	清掃
15:55 ~ 16:10	帰りの会
16:10 ~ 18:00	部活・生活指導・会議など
18:00 ~ 21:15	授業準備・提出物の点検など
21:15 ~ 21:30	帰宅
21:30 ~ 22:30	夕食・風呂・家事
23:00	就寝

※ 政府広報オンライン 平成31年(2019年)4月23日

2 実施当日に動画内で投影されている資料

3) お題とルール

お題

**全員が毎日30分早く帰れるようにするために
はどんなことをすれば良いですか？
(自分の学校について考えてみましょう)**

1 人当たりの勤務時間は7 時間45 分ですが、2 人なら15 時間30 分、
3 人なら23 時間15 分の予算があると考えて、知恵を出し合ひましょう！

▶進行役・タイムキーパーを決めてください

▶4つのルール

判断遅延

できるかどうかは話し合いの時には考えない
(後回しでOK！)

突飛さ歓迎

突飛・奇抜なアイデア大歓迎！ 制約を設けずに、
思いつくままにアイデアを出す (どんどんアイデアを！)

質より量

今までにないアイデアを「そんなものできるわけない」
と否定せず、歓迎する

他の人に便乗

他の教職員の出した意見に共感し、自分の考えをプラス
してバージョンアップする (それができるならこれも！)

2 実施当日に動画内で投影されている資料

4) 個人ワーク (6分)

▶ 個人で「1付箋」に「1アイデア」を書きましょう

- ・ 6分間でできるだけたくさん書きましょう
- ・ 4つのルールで自由に！ワクワクしながら！
- ・ 前任校で実施したナイスアイデアもOK！
- ・ 【10の視点】(↓表)を参考に！もちろんそれ以外も！

読めばわかるよう具体的に！



1	交代できる仕事はありませんか？合同で取り組むと、一人分空く仕事はない？ 教材作り ○○指導（給食・下校等） 授業 授業準備 評価 定型作業
2	その仕事、子どもでもできるのでは？子どもにとって「学び」になるのでは？ 係や当番の計画や管理 行事計画や当日の進行 教室のレイアウト
3	その仕事、職員全員が集まる必要ありますか？人数・回数は適正ですか？ 職員朝会 企画会議 全校○○（朝会・集会等） 生徒会 児童会 クラブ
4	それ、あなたでないとできない仕事ですか？細分化したら分担できることはない？ 出欠確認 電話対応 印刷作業 配布作業 提出物チェック
5	子どもに委ねたり、任せたりすることで豊かになる学びはありませんか？ 学び合いの導入 自由進度学習 自律学習 探究学習 PBLの導入
6	そもそもから「意味」「誰のため」を考え直したいことはありませんか？ 一斉指導 一律課題 管理的な校則 細かい規律 授業の型
7	それって本当に必要でしょうか？手放せたり形を変えたりできませんか？ 学年や学級編成 指導案の型 給食当番 掃除当番 会議資料印刷
8	コロナを経て、新たな可能性を考えてみたいことはありませんか？ 行事の簡素化 ICT活用 授業そのもの オンライン活用 GIGA端末活用
9	見映え重視で、お構立しすぎたり、手をかけすぎたりしていることはない？ 運動会 音楽会 卒業式の指導 来賓待遇 校内研究 公開授業
10	それって全員一律？教師が管理しないとダメ？ 教科ごとの単元テスト 毎日の宿題 単元の学びの学習進度

2 実施当日に動画内で投影されている資料

5) 班メンバー ⇒ 全体 (20分)



- ▶ ①それぞれが持ち札をすべて読みながら順番に模造紙に貼る
(5分) (しゃべりすぎ注意)
グルーピングはこの後でやるのでまずは共有

- ▶ ②働き方改革「3つの切り口」にグループ分け
(5分)

- ▶ ③1人1本ペンを持ち、各個人でアイデアに
マークをつけましょう (③④合計10分)

☆: すぐにできそう

○: 難しいかもしれないがやってみよう

(それぞれ複数可) 班でまとめる必要はないので各個人でマーク

- ▶ ④立って他のチームを見に行き同じようにマークをつける



(②③のやり方PDF)

2 実施当日に動画内で投影されている資料

「自分・学年・学校で試したくなる推しを見つける」



時間予算ワークショップ 目安時間：90分

先生の学びの研究所

このワークショップで目指すこと
「やりたいこと」を「限られた時間」で実現するための「アイデア」を創り出し、試したくなる推しを見つけること

0) 開始前準備

▶参加者
全府職員又は推薦チーム

▶準備
○A3に印刷した本ワークショップ ⇒ 1人1枚
○付箋 (サイズ75 mm、75 mm) ⇒ 10枚程度/人 (同色が望ましい)
○機軸紙 ⇒ 1枚/人
○A4用紙 ⇒ 1~2枚/人
○機軸表、年間予定表などの白紙機軸を用意するための材料

▶机編成
○形式：少人数 (3~5名/机)
○編成：学年集団など日頃仕事を共にしているメンバー
○机の配置：遠慮なく発言できるように、四角形やTの字など、メンバーの間が近い見渡せるような机形式が望ましい
○各机の中で進行役、タイムキーパーを定める

▶期待や楽しみやすさを高めるひと手間で実行力UP
※机の周囲に主催者側から期待や趣意を一言、開始時に場が温まるアイスブレイク/おしゃべり出しの企画に活かす感想や顔の盛り共有 等

1) Input

働き方改革の方向って？
⇒「教育の質の向上」

キーワード
クリエイティブランニング
思考・行動の質に自覚的になり
天才を創る思考法



ワークショップ実行動画
(約15分)

2) 現状把握 (6分)

▶下の表を見て、感で読みゃべり
みなさんの日常って、同じ？近い？違う？



※ 資料は東京大学 | 平成31年 (2019年) 6月22日

お話し

全員が毎日30分早く帰れるようにするために
ほんのなことをすれば良いですか？
(自分の学校について考えてみましょう)

1. 1人当たり勤務時間は7時間45分ですが、2人から15時間30分、3人から23時間15分の予備があることを考えて、短縮を出し合いましょう！

▶進行役・タイムキーパーを決めてください

▶4つのルール

机の編成

できるだけ机が並ぶように机には向きが1面は、2面OK!!

発言の態度

発言・発言がなくても発言したい！発言がなくてもいい！発言がなくてもいい！

発言の量

今まで以上に発言がなくてもいい！発言がなくてもいい！

他の人に発言

他の机の機軸表の上と機軸表の下に、自分の考えをプラスしてコメントアウトする (それがなくてもOK!!)

4) 個人ワーク (6分)

▶個人で「1付箋」に「1アイデア」を書きましょう

- 6分間でできるだけたくさん書きましょう
- 4つのルールで自由に！ワクワクしながら！
- 前任校で実施したナイスアイデアもOK!
- 【10の視点】(1)表を参考に！もちろんそれ以外も!

1	受けてある仕事はありますか？ 各機で取り組むこと、一人ひとりの仕事はありますか？ 机の回りくく、机の周り(机の周り) - 授業、授業準備、評価、学習指導
2	その仕事、手とでもできるのでは？ 手とでもできる仕事はありますか？ 机の回りくく、机の周り(机の周り) - 授業、授業準備、評価、学習指導
3	その仕事、誰か他の人がやる必要ありますか？ 人数・人数は減りますか？ 業務削減、業務削減、業務削減、業務削減、業務削減、業務削減、業務削減、業務削減
4	それ、あなたでなくてもいい仕事ですか？ 機軸表にしたら対応できることはいくらありますか？ 業務削減、業務削減、業務削減、業務削減、業務削減、業務削減、業務削減、業務削減
5	子どもに任せたい、任せたいすることで誰かにも任せたい仕事はありますか？ 学び合いの導入、机の回りくく、机の周り(机の周り) - 授業、授業準備、評価、学習指導
6	そもそも何が「意味」「目的」のために考えたいことにはありますか？ 一斉指導、一斉指導、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用
7	それによって本当に必要でしょうか？ 手取りの仕事を減らさなければなりませんか？ 学習指導、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用
8	プロナを見て、あなたは何を改善したいかにはありますか？ 行事の機軸表、机の回りくく、机の周り(机の周り) - 授業、授業準備、評価、学習指導
9	機軸表を見て、机軸表にしてみたい、手を取りたいことにはありますか？ 機軸表、機軸表、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用
10	それによって誰か一人？ 誰か一人がやりたいことですか？ 機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用、機軸表の活用

5) 机メンバー ⇒ 全体 (20分)



▶①それぞれが持ち札をすべて読みながら机席に机席に貼る (5分)。(机の回りくく注意) グループはこの機軸表でやるのでまずは共有

▶②働き方改革「3つの切り口」にグループ分け (5分)

▶③1人1本ペンを持ち、各個人でアイデアにマークをつけましょう (③④合計10分)

- ☆：すぐにできそう
- ：難しいかもしれないがやってみよう (それぞれ複数可) 机でまとめる必要はないので各個人でマーク

▶④立って他のチームを見に行き同じようにマークをつける



ワークショップ実行動画
(約15分)

6) 推しアイデアを共有しよう (20分)

▶各机や個人で推しのアイデアを選び、A4用紙に記入しよう

すぐにできることは早速明日から始めましょう！ 次年度に向けた取り組みでもOK！ グッと来た、他の人から止められてもやりたい、達成出来たらワクワクするテーマを選んで！ 個人でできることでも、誰かと一緒に取り組むことでもOK！ 学年や教科や分掌で取り組んでみたいアイデアはそのメンバーで話し合ってみよう！ 有志も必ずあります！ 校内全体で広めたいことは、校長会・教員会・教務会・教育委員会・保護者など必要な人たちを巻き込んで一緒に取り組みましょう！

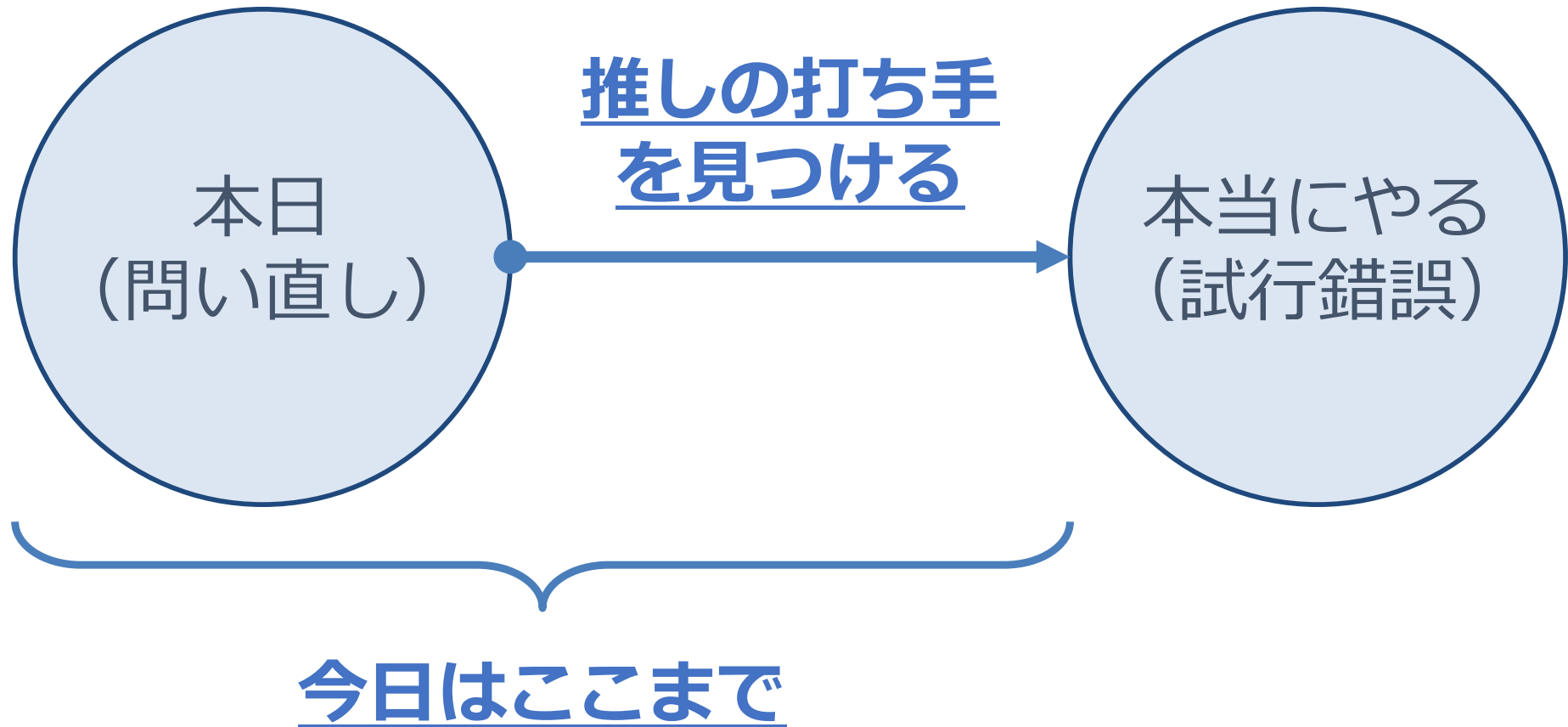


ワークショップ実行動画
(約15分)

その後の机席パターンと
実現度を高める方法等
スライド一式 (PDF)

2 実施当日に動画内で投影されている資料

本日は自分・学年・学校で「試したくなる推しを見つける」



2 実施当日に動画内で投影されている資料

本日は自分・学年・学校で「試したくなる推しを見つける」

▶各班や個人で推しのアイデアを決めましょう

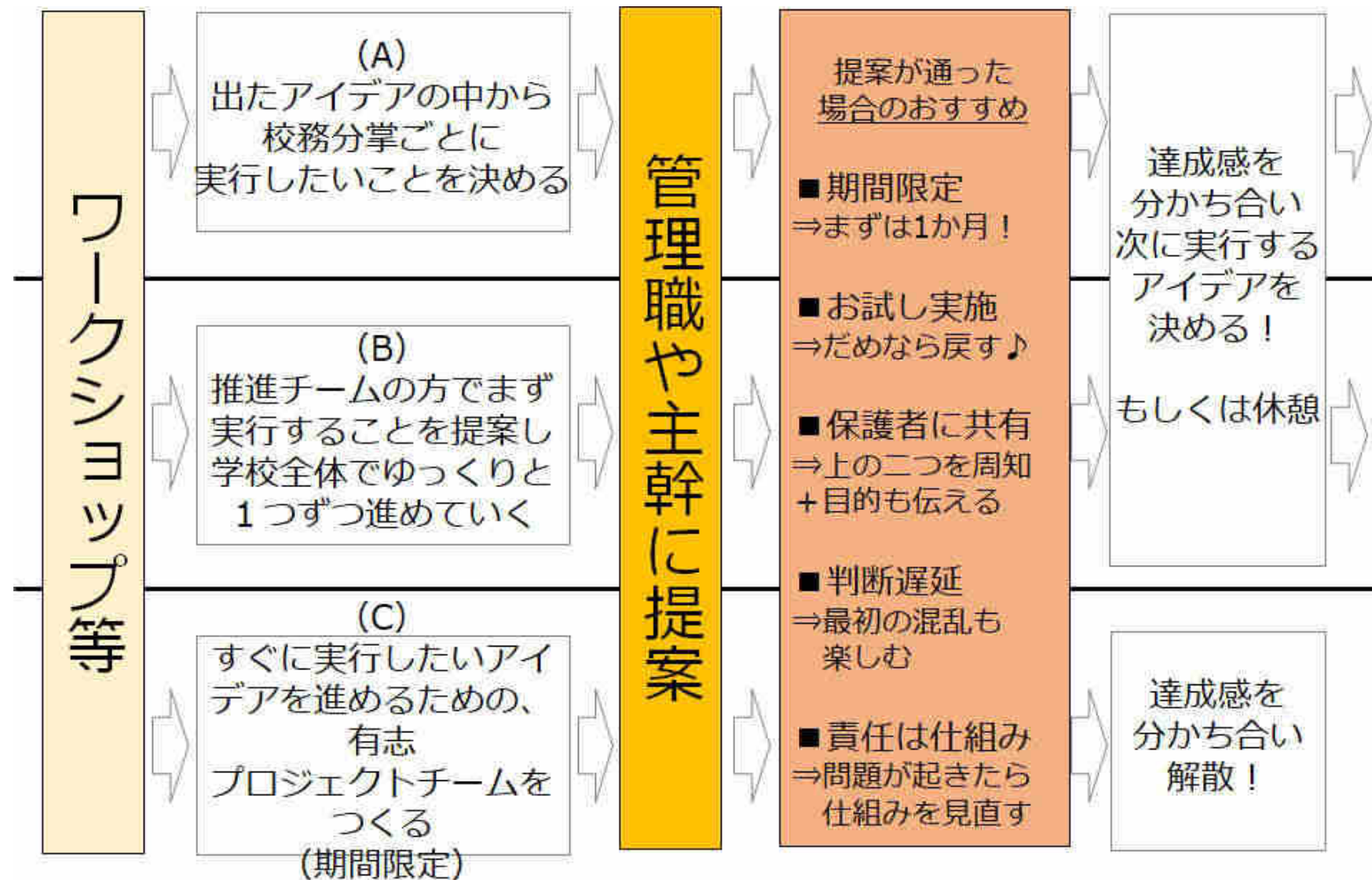
A4用紙に記入し、全体共有しましょう

(時間の都合に合わせて代表者のみなど工夫してください)

- すぐにできることは早速明日から始めましょう！
- 次年度に向けた取り組みでもOK！
- グッと来た、他の人から止められてでもやりたい、達成出来たらワクワクするテーマを選んで！
- 個人でできることでも、誰かと一緒に取り組むことでもOK！
- 学年や教科や分掌で取り組んでみたいアイデアはそのメンバーで話し合ってみましょう！有志もおすすめてです！
- 域内全体で広めたいことは、校長会・教頭会・教務会・教育委員会・保護者など必要な人たちを巻き込んで一緒に取り組みましょう！
- その後の展開パターンと実現度を高める方法やシート類のPDFはこちら
(URL : <https://www.nits.go.jp/materials/intramural/155.html>)

3 【主催者・あらかじめ】実施後にご覧いただく資料

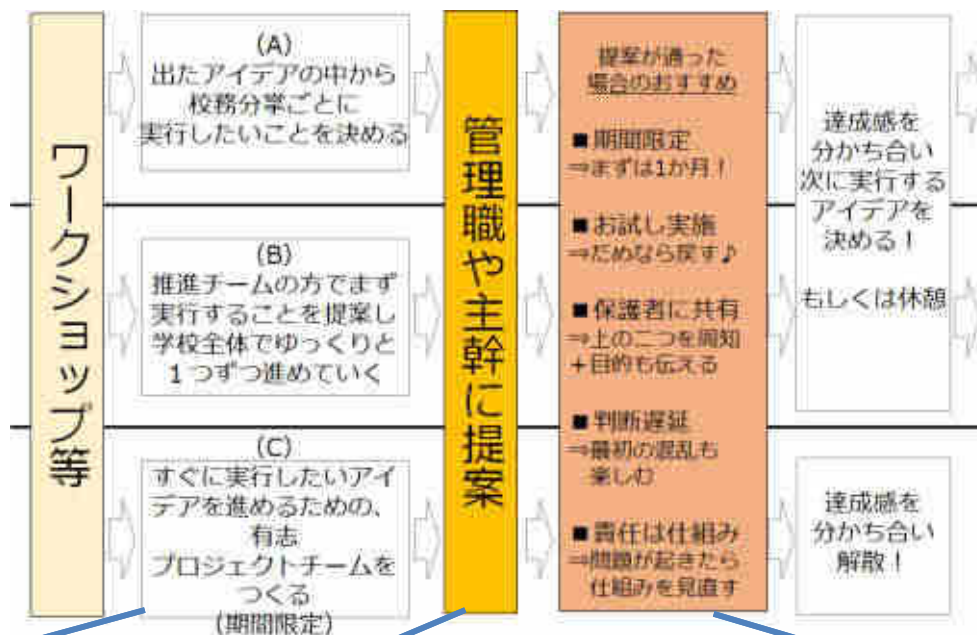
その後の展開パターンと実現度を高める方法（1/2）



3 【主催者・あらかじめ】実施後にご覧いただく資料

その後の展開パターンと実現度を高める方法 (1/2)

- 自助
継続や改善のためには事後の工夫が必要
例) 自助グループ etc.
- 共助
この図を参考に各学校の実態に応じて形にしてい



- A~Cは一長一短なので、取り組むアイデアごとに使い分けたり、組み合わせたりすると良い

- アイデアの内容や自校の意思決定構造に応じて手続きは簡易~丁寧なものまで様々な場合がある
例) 特に提案不要/管理職や主幹等への提案が必要 etc.

- やってみてわかることも多いので、「やりながら修正」くらいの気軽さをもって

3 【主催者・あらかじめ】実施後にご覧いただく資料

その後の展開パターンと実現度を高める方法（2/2）

2つのシコウ 3つのスタンス 5つのコツ

シコウ

- 【1】目的を問い直し、手段を再構築する「**目的思考**」
- 【2】人ではなく、仕組みを疑い改善する「**システム思考**」

スタンス

- (1) 無理なく、楽しく！持続可能な在り方で！
- (2) まず、小さくやってみる！やってみて考える！！
- (3) A案 vs B案ではなく、A × B = C案をうみだす！

コツ

- ① 学校全体でプロジェクトを進める**時間の確保**
例) 6時間目カット/会議をカットして生んだ時間でMTG
- ② 各プロジェクトの**担当業務を可視化・共有化**
例) プロジェクトコーナー（掲示板）で共有/ICTで共有
- ③ 負担や担当タスクが多い人への**負担軽減配慮**
例) 部活動・給食・委員会/クラブなどの裏で作業時間確保
- ④ 改善案を本実施前に、**期間限定試行実施**
例) 2週間限定で特別特設実施/挿入回数を2回減の進を実施
- ⑤ 保護者・地域への**検討段階の事前共有**
例) 「再来月〇月より、～を検討しています。～のためです。ご意見をいただき、よりよい在り方を検討してまいります。」

(株)先生の幸せ研究所 